

事務 事業名	コード1	0960	予防事務費	課	健康管理課					
	コード2		健康づくり推進協議会		所属班	庶務企画				
				電話番号		63-8766	内線			
政策 体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算 科目	会計		款	項	目	
	施策	1	保健の充実		一般会計		04	01	02	
	施策の展開	1	健康づくりの推進	根拠 法令	旭市健康づくり推進協議会設置要綱					
	基本事業	127	健康づくり推進体制の充実							

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全休像を記述⇒	市民の総合的な健康づくりのため、健康づくり推進事業や前年度の実績について審議する。 市長が委嘱し、委員は15名以内で組織する。(任期は2年) 委員は学識経験を有する者、保健関係団体及び民間団体の代表者、関係行政機関及び学校の代表者、住民の代表から成っています。 【業務の流れ】 会議を開催し、審議する。 出席した委員に報酬を支払う。 審議結果に基づいて、健康づくりのための対策を策定する。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
8人×6,000円×1回=48,000円		事業費						
		財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	36	48	48	144	
		事業費計(A)	千円	36	48	48	144	0
		人件費	人	0.01	0.01	0.01	0.03	
		正職員従事人数	人	0.01	0.01	0.01	0.03	
		延べ業務時間	時間	30	30	30	60	
		人件費計(B)	千円	114	114	114	228	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	150	162	162	372	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 旭市健康づくり推進協議会の開催	ア 推進協議会の開催回数	回	1	1	1	2		
目的	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 旭市健康づくり推進協議会の開催	イ 市民の総合的な健康づくりを推進する体制について審議した件数	件	6	6	6	8		
		ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	旭市健康づくり推進協議会委員	ア 旭市健康づくり推進協議会委員数	人	12	12	11	11		
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	審議結果に基づいた事業を展開する。	ア 事業に反映した審議数	件	6	6	6	6		
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	市民が「自分の健康は自分で守る」を実現する。	ア 胃がん検診受診率	%	19.9	20.2	19.4	19.6		
		イ 特定健康診査受診率(事業実績数)	%	44.4	45.2	45.2	50.0		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
市の総合的な健康づくりのための方策を審議企画し総合的な健康づくり対策を推進するため設置した。	平成17年度から12名の委員で構成されていたが、平成23年度からは公募が少なく1名減の11名体制となった。	特になし

事務事業名	予防事務費 健康づくり推進協議会	課名	健康管理課	班名	庶務企画
-------	---------------------	----	-------	----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 市民の総合的な健康づくりのための方策を審議企画することは、健康づくりの推進に結びついている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 各分野から委員を委嘱しているので、現体制で妥当である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市民の健康づくりの推進に努める事業であり妥当である。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 近隣市の類似協議会の活動内容については、同程度の内容である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 委員は各分野から委嘱し審議しているため、今以上の向上は望めない。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業が無い。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
	⑦ 事業費の削減余地（表面トータルコストの事業費部分） 事業費を削減できないか？（経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 委員報酬だけなので削減できない。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地（表面トータルコストの人件費部分） やり方の工夫（業務プロセスの改善など）や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 会議開催資料作成の人件費だけなので、削減できない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民が対象なので、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	「自分の健康は自分で守る」を実現するため、総合的な健康づくりを推進する体制を充実させることは重要なことなので、今後も継続し各種事業を効果的に進めたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☐ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 廃止・休止 ☐ 行政関与の見直し ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 費用負担の適正化			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ① 現状維持 ② ③ ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ① ② ③ ④																								